

## 競技注意事項

### 1 競技規則について

本大会は2025年(公財)日本陸上競技連盟規則および本大会申し合わせ事項によって実施する。

### 2 練習会場の使用について

① 本競技場での練習は、大会前日5月31日の15時から19時、大会当日6月1日の7時30分から競技開始15分前まで開放する。ただし、開会式中は中止する。競争路使用は原則として以下の通りとする。

- ・1～2レーン:中・長距離
- ・3～7レーン:リレーを含めた短距離
- ・8～9レーン(第1曲走路からバックストレート):400mH(8レーン:女子、9レーン:男子)
- ・8レーン(ホームストレート):100mH
- ・9レーン(ホームストレート):110mH

② 補助競技場での練習は、大会当日6月1日の7時30分から16時30分まで開放する。競争路使用は原則として以下の通りとする。

- ・1～2レーン:中・長距離
- ・3～6レーン:リレーを含めた短距離
- ・7～8レーン(第1曲走路からバックストレート):400mH(8レーン:女子、9レーン:男子)
- ・7レーン(ホームストレート):100mH
- ・8レーン(ホームストレート):110mH

③ 投てきの練習は禁止とする。大会当日の公式練習前に、本競技場内での練習時間をとれるように可能な限り配慮する。

④ 前日練習については別紙で連絡する。

### 3 招集について

① トラック競技・フィールド競技ともに第3ゲート外側(200mスタート付近)を招集所とする。

② 招集の開始、終了時刻は、その競技の開始時刻を基準として下記のようにする。

	トラック競技	フィールド競技	棒高跳	投てき競技
招集開始時間	30分前	45分前	75分前	60分前
招集完了時間	15分前	30分前	60分前	45分前

- ③ 競技者は招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ユニフォーム、アスリートビブス、競技用靴のスパイクピン及び靴底の厚さ等の点検を受ける。
- ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は棄権したものとして処理する。ただし2種目を同時刻にかねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、トラック競技招集所に用意した「多種目同時出場届」に記入し、1種目目の招集時に招集所へ提出する。
- ⑤ 「リレー・オーダー用紙」はあらかじめ招集所で受け取ること。
- ⑥ 「リレー・オーダー用紙」に必要事項を記入し、各ラウンドともその種目の第1組目の招集完了時刻1時間前までに、競技者係（招集所）に提出すること。
- ⑦ 一度申告したらその後の変更は、その組の招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。選手変更の場合は「医務証明書」を総務に提出すること。
- ⑧ 出場種目を欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を記入し、招集所に提出すること。記入者は監督、顧問でなくても構わない（マネージャー等も可）。

#### 4 番組編成について

- ① トラック競技の決勝は、主催者において公平に組み合わせの上、抽選して走路順を決める。組み合わせの抽選された走路順は掲示場に掲示する。
- ② 予選がタイムレースの場合は、上位8名（チーム）までが決勝に進出できる。ただし、OBOGは決勝に進むことができない。

#### 5 アスリートビブスについて

- ① アスリートビブスは配布された大きさのものを胸部と背部につける。折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。
- ② トラック競技に出場する競技者は、用意された腰ナンバーカードをパンツの右やや後方につける。競技終了後は係員の指示に従い外し、係員に渡すこと。

#### 6 競技用靴のスパイクについて

- ① スパイクの本数は11本以内とする。
- ② スパイクの長さは9mmを超えてはならない。ただし、走高跳およびやり投げ競技においては12mmを超えてはならない。

#### 7 競技用具について

- ① 棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使用すること。
- ② 競技者個人の器具は、練習用といえども競技場内に持ち込んではいけない。

#### 8 競技について

- ① 競技する競技者以外は、トラック、フィールド内に立ち入ることはできない。

- ② セパレートレーンで行う競技は、競技者の安全確保のためにフィニッシュライン通過後も、自分のレーン（曲走路）を走り抜けること。また、欠場者のレーンはそのままあけておく。
- ③ リレー競技に出場するチームは、競技者の誤認をなくすために、同一のユニフォームで参加しなければならない。ただし、デザインや配色が同一であればユニフォームのタイプが異なっても問題ない。
- ④ 4×100m Rの第2・第3・第4走者は、各リレーチームで準備したマーカートを（1個：他の恒久的なマーキングと混同しないようなはっきりとした色の粘着テープ最大50mm×400mm以内）使用する。レース終了後、使用したマーカートを、各リレーチームで責任を持って取り除くこと。
- ⑤ 4×400m Rの第3・第4走者のバトン受け渡しは、コーナートップ通過順の内側より並んで行うこと。並んで待機している走者は、この順序を維持しなくてはならず、バトンを受け取るまでに入れ替わることは認められない。コーナートップの地点は、200mスタート地点内側に設置された黄旗で示される。

## 9 抗議について

- ① 競技の結果または行為に関する抗議は、監督または当該競技者により、その種目の結果が正式発表されてから30分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内）に、大会事務局を通じて、審判長に対して口頭でなされなければならない。（アナウンスでの発表終了時刻を基準とする。）
- ② 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。審判長裁定を不服としてさらに上訴する場合は、「上訴申立書」に必要事項を記入し、預託金10,000円を添えて大会事務局に申し出ること。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

## 10 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

- ① 高跳びのバーの上げ方は下記の通りとする。  
男子（練習1m35）1m40から1m70まで5cm刻み、1m70から3cm刻みとする。  
女子 選手役員と相談し、バーの高さを決定する。
- ② 棒高跳びのバーの上げ方は男女とも選手全員と相談し、高さを決定する。

## 11 表彰及び得点について

- ① 各種目上位6位までの入賞者には、賞状を用意する。表彰は行わない。本競技場正面に表彰台のある写真撮影スペースを設置するので、写真撮影等はそこで行うこと。
- ② 各競技における得点について
  - i) 競技参加者が6人以上の場合、1位から順に6点、5点、4点、3点、2点、1点の

得点が与えられる。

- ii) 競技参加者が6人未満の場合、1位の得点を「参加人数」とし、以下順位ごとに1点ずつ減点していく方式とする。リレー種目も同様とし、競技参加チームが6チーム未満の場合、1位の得点を「参加チーム数」とし、以下順位ごとに1点ずつ減点していく。また、リレーは同じ大学から複数チーム出場することができるが、一番早いチームの順位のみが得点に反映される。

例) 4×100mR

A 大学 (1 チーム) B 大学 (1 チーム) C 大学 (1 チーム) D 大学 (2 チーム)

参加する場合 (計 4 大学、5 チーム)

1 位から順に 4 位まで、4 点、3 点、2 点、1 点の得点が与えられる。

- ③ 上記の得点を大学ごとに集計し、閉会式で男子総合、女子総合、男女総合得点の発表・表彰を行う。

## 12 その他

- ① 救急、救護に関する処理はメインスタンド下の医務室で行う。ただし、応急処置は行うが以後の責任を負わない。また、事故の結果について本委員会は一切その責任を負わない。
- ② 競技場の施設、設備及びウォームアップ場は大切に使用すること。
- ③ 盗難にあわないように、持ち物および貴重品の管理には十分注意すること。
- ④ 届けられた遺失物については大会総務で保管する。
- ⑤ ごみは原則持ち帰るか、各大学は主将会議で告知された通りにすること。
- ⑥ 安全ピンは各自用意するように。こちらでは用意しない。
- ⑦ 室内走路、ダグアウト（観客席下の部分）は進入禁止とする。
- ⑧ 競技場開門時間は 7:00 である。近隣への配慮の為、開門前の路上待機(正門前含)は禁止となっている。早着の場合は西側第 3 駐車場にて開門を待つこと。